

1.魅力ある観光地域づくり推進のための主な取組の連携図

1.魅力ある観光地域づくり推進のための主な取組の連携図

「Ⅱ.事例編」で取り上げている観光地づくりの成功事例（16 事例）をもとに、魅力ある観光地域づくりのための取組を類型化し、相互の効果的な連携を整理すると下記のようになります。各取組は大きく以下の3つの類型に大別されています。

(1)「観光地としての土台づくり」

ここで挙げられているのは、魅力ある観光地づくりの土台となる取組です。**特に、コンセプトの発見～地域観光資源のブラッシュアップまでの取組は観光地として優先的に実施することが望ましい核となる部分となっています。**

(2)「土台を基にした新たな展開」

ここで挙げられているのは、上記の土台となる取組をベースにして、さらに新たな展開を図るための取組です。

原則としては、(1)「観光地としての土台づくり」からスタートすることが望ましいですが、必ずしも(1)を踏まえた上で実施されなければならないということではなく、**地域の特性や取組みの熟度に応じて、順番を前後して実施される場合も考えられます。**

(3)「観光地づくりを推進する組織と人材」

ここで挙げられているのは、観光地づくりを推進する上で重要となる組織の体制や人材育成を図るための取組です。これらは上記の「観光地としての土台づくり」、「土台を基にした新たな展開」のいずれにおいても関わってくる取組です。

○魅力ある観光地域づくり推進のための主な取組の連携図

※連携：連携して実施することが特に効果的と思われる箇所（「4.魅力ある観光地域づくり推進のための効果的な取組連携の考え方」参照）
 ※ ：優先的に実施することが望ましい取組 ：基本的に実施することが望ましい取組

